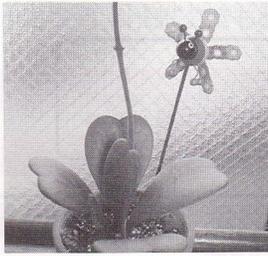


かわらだひろこ 川原田弘子

News

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5844 FAX078-322-6161



葉っぱがハート型のハートホヤ。上手に育てると可愛いお花が咲くそうです。

第1回定例会市会が終了し、平成22年度予算が可決されました。市税収入は、景気低迷を受けて昨年度を下回る見込みですが、**地方財政対策によって財源が確保され、また、行財政改革を進めていることから収支不足は20億円に抑えることができました。**

垂水支部 川原田弘子事務所連絡先

〒655-0034 神戸市垂水区仲田3-1-8-202
TEL&FAX 078-709-8998
携帯 090-1956-5565
e-mail : happy@hiroko-club.com URL : http://www.hiroko-club.com



真珠議員の会(真珠懇談会)の会長になりました!

～地域主権に向けて～

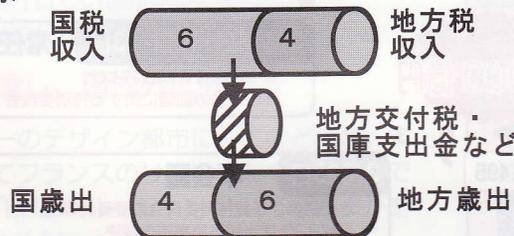


国の基本方針のひとつに「**地域主権**」が盛り込まれています。「**地域のことは地域に住む住民が決めていく**」地域主権では、国の権限や財源を地域に渡していくこととなります。住民が権限や財源を持つためにも、まずは、今の仕組みを一緒に勉強しましょう。



交付税の対象

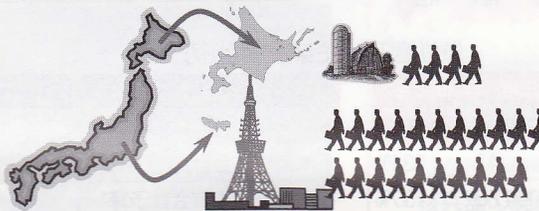
- ・ 所得税の32%
- ・ 法人税の34%
- ・ 酒税の32%
- ・ 消費税の29.5%
- ・ たばこ税の25%
- その他



税金には、国が課税権を持つ**国税**(所得税や消費税など)と、県や市が条例で決める**地方税**(市県民税や固定資産税など)があり、**6:4**の割合です。ところが、実際の歳出(支出)では、**国対地方は、4:6**と逆転します。



交付税は、国税の一部を地方に分配することで、地方の税収の偏りをなくす役目を持つんですね?では、交付税の額はどのように決まるのでしょうか?



面積が広いと道路や河川の整備の費用が多くなるし、人口が多いと学校や病院を作る費用が多くなりますね。

たとえば土木費とか教育費などの**基準になる行政費用**があり、それに、「**面積**」や「**人口**」などを加味して「**需要**」が決まります。これを「**基準財政需要額**」と呼び、地方税の75%に譲与税等を足した「**収入**」にあたる「**基準財政収入額**」と比べて足りない分が**普通地方交付税**となります。



特別交付税

基準財政需要額

単位当たりの行政費用

× 人口や面積などの測定単位

× 補正係数(寒冷、積雪等)

補正係数の見直しなどにより、交付税は毎年削減されていました。



基準財政収入額

地方税

× 75% + 地方譲与税等

普通交付税



実際には、**国の地方交付税会計も財源が不足し**、不足分は地方に「**臨時財政対策債**」として一旦起債させ、のちに交付税措置をする方法がとられています。普通交付税と臨時財政対策債を併せたものが、地方には実質的な交付税となります。

毎年削減の傾向にあった交付税ですが、今年度は、地域主権が尊重され、神戸市への実質的な交付税は、**昨年比95億円の増**となりました。交付税は、国の判断によるところが大きいため、地方のことは地方で判断できるよう、税収の割合を現在の**6:4**から、**5:5**くらいにするよう、これまで市長会や議会から国に求めてきました。地方に課税権の範囲を増やした上で、真の地域主権に近付けるには、国からの交付に頼らない運営を自治体として目指していく必要があります。

